

防災 × 教育

この記憶は  
一生の宝物!

# みんなで作るヘリサインプロジェクトについて



※AIによる生成イメージ

## ヘリサイン（対空表示）とは？

災害時・緊急時に救援ヘリコプターが目的地を正確に認識するための  
”空からの目印”です。

役所、学校、消防署などの公共施設の屋上に施設名を表示する事で、  
支援物資の搬送や救助活動を円滑にします。

みんなで協力して塗装  
地域の防災に貢献



※AIによる生成イメージ

 防災

受援力の向上  
強靱化推進

 教育

防災の自分事化  
地域への貢献  
キャリア教育

 活動の記念

ドローンで記念撮影  
Google Earth™に反映  
世界中から見る事が可能

 地域貢献

市報、町報に掲載  
ホームページやSNSに  
市民の安心感アップ



# みんなで作る防災ヘリサインプロジェクトについて

## ～「強靱化計画」の実現に寄与～

## ～防災教育・キャリア教育に～

### 1. 企画の背景と目的

救助ヘリを誘導する「ヘリサイン（対空表示）」の整備は災害時の受援体制を構築する上で極めて重要です。しかし、整備の必要性は認識されているものの、限られた予算や施工コストの課題により、設置が進みづらいのが現状です。

本プロジェクトでは、学校の屋上をキャンバスに見立て、生徒自らが専用塗料を用いてヘリサインを設置することを提案します。

これにより「コスト課題の解決」と次世代を担う子どもたちへの「主体的な防災教育」を同時に実現します。

### 2. 防災面のメリット：受援力向上

#### 低コストで受援力を向上

費用を抑えつつ、災害時の円滑な支援受け入れを可能にします。

### 3. 教育面のメリット：学びと地域貢献の融合

#### 「防災の自分事化」を促進

自らの手でヘリサインを描く体験は、「自分たちの行動が地域の安全に繋がる」という当事者意識を醸成し、主体的な学び（アクティブラーニング）を推進します。

#### 郷土愛の醸成

「地域の安全に貢献した」という達成感は、郷土愛や社会貢献への意欲を育む貴重なキャリア教育の機会となります。

### 4. 活動の記念

#### デジタルアーカイブとしての永続性

数年に一度更新されるGoogle Earth™や衛星写真に活動の証が記録され、卒業後も世界中から確認できます。母校への愛着を深め、一生の記憶に残る財産となります。

### 5. 広報・PR効果：安全・安心な自治体イメージの構築

#### 多角的な発信

制作過程などを撮影し、市報、SNS等で公開することで、「防災に強い自治体」「地域と歩む学校」としての姿勢を内外にアピールすることになり、SDGs(住み続けられるまちづくり、質の高い教育)への貢献を可視化し、地域全体の防災意識と信頼感を醸成します。

## 【技術資料】専用塗料「ルミノヘリサインアクア」について

屋上は建物で最も過酷な環境であり、一般的な路面・建築用塗料では「短期間での剥離（はがれ）」が頻発します。本事業では、メンテナンスを最小限に抑える長期耐久性と児童や生徒でも扱いやすい安全性を両立した専用塗料を採用します。

#### ・ポイント① 剥離リスクの回避（伸縮追従性・密着性）

屋上の防水層は外気温の変化で激しく伸縮します。

本塗料は防水層と同じ柔軟性を持つため、下地の動きに追従し、長期間はがれることはありません。

#### ・ポイント② 過酷な環境への耐性

強力な紫外線や雨などに対する専用設計により、救助ヘリからの視認性を長期間鮮明に維持します。

#### ・ポイント③ 安全性・環境への配慮

水性・低臭気設計のため、生徒が安全に扱えるだけでなく、授業中の教室内や近隣住宅への臭気トラブルの心配もありません。